

■営利の利と利益の利■

ほぼ週刊【松村拓也のメールマガジン】第 411 号

こんにちは、松村拓也です。

E-Mail と Facebook で松村拓也の活動についてほぼ毎週お届けしています。

ご意見、ご質問大歓迎です。

オンラインの議論をご希望の方は、気軽に返信ください。

.....

411 目次

1. トピックス：若者に奢(おご)りたい！
2. ブログより：営利の利と利益の利（再掲）
3. 今週のお誘い＋今後の予定
4. 地主の学校・販売中
5. アクセスポイント：問い合わせ先
6. このメルマガについて

.....

1. トピックス：若者に奢(おご)りたい！

先週の火曜日、山口県の俵山温泉から I 君が僕を訪ねて笑恵館に来てくれました。

昨年 5 月対馬と壱岐を訪問した帰りに、友人の Y 君がコミュニティづくりに取り組む俵山温泉を訪ねた際、現地を案内してくれて以来、I 君に会うのはこれで 2 回目です。

なので僕はめっちゃめっちゃ嬉しくて、夕方まで笑恵館を案内したり近況を語り合った後、祖師ヶ谷大蔵駅ヨコの居酒屋にまっしぐら。

「今日は大いに飲もう！」と I 君をけしかけて、杯を重ねること約 4 時間。

腹も一杯になったところで「今日は僕のおごりだ！」と、ふんぞり返りました。

・

辞書を引くと【奢(おご)る】には、自動詞として「贅沢になる」、他動詞として「自分の金で他人に御馳走する」の意味がありますが、前者の贅沢については、「権力などを誇示し思い上った振舞いをする」という説明が加わります。

この説明は正しいとは思いますが、僕の「奢る」は、「自分の金で他人にご馳走したことでご機嫌になる」という感じです。

なので、「松村に奢られる」ことは、へりくだったり謙虚になることでなく、「ごちそうになることで松村をご機嫌にする」という意味です。

特に、相手が若ければ若いほど、松村はご機嫌になります。それは単に年齢が若いだけでなく、「生意気(なまいき)」なことが重要です。

・

以上、突然ですが、若者に向けたお誘いです。

蛇足ですが、生意気な松村にご馳走して下さる「高齢の先輩」からのお誘いも、大歓迎です。

.....

## 2. ブログより：営利の利と利益の利（再掲）

笑恵館で久しぶりに、複式簿記のセミナーを開催した。

僕はもちろん簿記の勉強はしたことが無く、経理はど素人だが、自分の会社だけでなく数人のビジネスの経理をサポートし、決算を手伝っている。

なぜかと言うと、ビジネスをやるのなら経理は自分で出来る程度に分かっていなければならないから。

起業しようとする人には、必ずそれを伝え、サポートするようにしている。

でも本当はそれだけではない。

実は経理は面白いから、ついつい他人のビジネスまで首を突っ込みたくなってしまう。

・

僕の経理は完全に自己流だが、その分どんなビジネスにも対応できる。

貸借対照表と損益計算書を作ることさえできれば、決算や納税は簡単だ。

でもこんな偉そうなことが言えるのは、20年前会社を潰した時、お金が無いから経理システムを自作したおかげだ。

建設会社を動かすためには、最低でも顧客管理と原価管理と財務管理が必要なので、エクセルでデータの流れを考えながらアクセス（マイクロソフトのデータベースソフト）を構築した。

経理の担当者が「経理は勘定奉行を使いたい」というので最終的にはそうしたが、僕が素人なので経理の仕組みを理解するには自分でエクセル上に再現するしかなかった。

さぞかし大変な作業だろうと、重い気持ちで始めてみると、これがビックリするほどすいすい出来上がった。

・

そもそも経理って、昔から世界中の人がやってること。

コンピュータが普及する前は電卓で、その前はそろばんでやっていたが、そろばんの無い国は暗算でやるしか無かったはずだ。

企業の経理は当然「複式簿記」なので、貸方と借方の2列を作り、入金と出金を分けて書かなければならない。面倒だと思いつつも表を作り、sum関数で集計できるようにした時、僕はふと「全部足し算で出来るんだ」と気が付いた。

入金がプラスなら出金がマイナスで、それを足したり引いたりするのが簿記だと思い込んでいた僕にとって、この気づきは衝撃だった。

でも、次の瞬間僕はこう確信した。

400年前から世界中で使われてきたやり方が、難しいわけがないじゃないか・・・と。

こうしてエクセル上で簡易な会計システムを作り上げ、その後は勘定奉行に引き継いだのだが、むしろ僕はその後もエクセルの方を使い続けている。

セミナーでもこのシステムを紹介しながら、「財務会計の簡単さ」を熱く語った。

・

さて、今日の本題はここからだ。

会計とは、入金と出金を科目で分類しながらひたすら入力する作業だ。

そしてすべてを集計して求める答えは「入金－出金＝利益」となる。

この利益こそ、税金のもとになり、株主の取り分なので、これを年に一度計算する「決算」が一番大事な仕事になる。

全ての「入金」と「出金」は請求書や領収書などの根拠があるが、「利益」だけは根拠のない計算値だ。だから、「利益は大切だ」と僕らは思いこんでいるが、利益は全て株主の取り分だということを忘れないで欲しい。

利益から税金を払っているのは、むしろ株主であって、働いて稼いだ人ではない。

僕たちが苦勞して稼ぎ、苦勞して計算した利益は、資本を出資しただけで何もしていない株主のものだ。

・

もちろん、起業するほとんどの人は自分自身が株主なので、利益は自分のものになる。

だが、その自分は苦勞して働いた自分ではなく、楽をした自分ということだ。

では、苦勞して働いた自分は、どのように報われるのだろうか。

それは、利益でなく報酬や給料であり、会計上は「経費」となる。

結局ビジネスの利益とは、ビジネスの結果余ったお金のことであり、だからこそ何もしない人に払うことができると言える。

だが、それが本当に利益と言えるのだろうか。

何もせずにお金をもらえることこそが、「利益」なのだろうか。

・

例えば「社会の利益」と言った時、社会で何もしない人が得をすることを言うのだろうか。

いやそうではないだろう、おそらく人々の努力や苦勞が報われることを言うのではないかと思う。

何もせず楽をしても、余ったお金がもらえることを、「豊かさ」というならば、まさに現代は豊かさを追求する時代になったと言える。

利益とは「余り」のこと、豊かとは「余る」ことを指すのだろう。

だとすれば、「余った家」や「余った土地」は、豊かさがもたらす利益ということになる。

「空き家」とは、豊かさが生んだ余りのことだ。

・

空き家問題の問題点は、「空き家の悪さ」を説明できないこと。

空き家が汚れたり壊れたりして、近所迷惑になるのであれば、それを「空き家の悪さ」と言えるが、手入れと管理をすることで何も迷惑をかけなければ、「空き家は何も悪くない」となってしまう。

つまり、「空き家の悪さ」とは、それが「余り＝利益」であることかもしれない。

僕が今、「地主業とは非営利不動産業のこと」という結論を見出したのは、こんなことを思うからかも知れない。

営利の利と、利益の利の違いを見分けないと、この話は理解できないと思う。

<https://nanoni.co.jp/20230224-2/>

.....

### 3. 今週+今後の予定（下記以外はすべて空いてます）

【凡例】◎：申込不要、○：申込必要、×：一般参加不可

#### ■今週の予定

(火) 02/28 なのに（各所）作業日

会議×：10-12時 HFA 映像制作会議（オンライン）

訪問◎：16-18時 神奈川図書館（東白楽）

会議○：19-20時 LR 定例営会議\_4火（オンライン）

会議×：20-22時 いづみ幹事会（反町）

（水）03/01 なのに（各所）作業日

（木）03/02 なのに（世田谷）作業日

会議×：10-11時 世田谷児相打合せ（笑恵館）

（金）03/03 なのに（各所）作業日

（土）03/04 なのに（世田谷）作業日

交流◎：09-17時 よろず相談会（笑恵館）

面談×：14-16時 亀海さん（笑恵館）

（日）03/05 いづみ（横浜）作業日

会議◎：10-12時 八島花文化財団理事 M\_1日（オンライン）

（月）03/06 なのに（世田谷）作業日

#### ■今後の予定

03/09 会議◎：17-19時 笑恵館運営会議\_2木（笑恵館）

03/11 交流◎：09-17時 よろず相談会\_土（笑恵館）

03/12 交流◎：09-17時 いづみプロジェクト説明会\_2日（反町）

03/14 会議○：20-21時 LR 定例営会議\_2火（オンライン）

03/16 交流◎：13-18時 なるほどデイ\_3木（笑恵館）

03/16 交流◎：18-20時 完全持ち寄り食事会\_3木（笑恵館）

03/16 会議○：21-22時 AR こども書籍 PJT（オンライン）

03/19 会議○：20-21時 八島花文化財団事務局 MTG\_3日（オンライン）

03/23 会議◎：17-19時 笑恵館運営会議\_4木（笑恵館）

03/26 交流◎：09-17時 いづみプロジェクト説明会\_4日（反町）

03/27 交流○：15-17時 笑恵館女子会\_4月（笑恵館）

03/28 会議○：20-21時 LR 定例営会議\_4火（オンライン）

04/02 会議◎：10-12時 八島花文化財団理事 M\_1日（オンライン）

松村の予定はこちらで随時公開しています。

<http://nanoni.co.jp/schedule>

.....

#### 4. 地主の学校・販売中

拙著【地主の学校】はこちら

<https://www.bungeisha.co.jp/bookinfo/detail/978-4-286-23339-0.jsp>

セミナー、読書会など気軽にご相談ください。

.....

#### 5. アクセスポイント

松村拓也

メール [takuya@nanoni.co.jp](mailto:takuya@nanoni.co.jp)

携帯 090-9830-3669

自宅：

〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-27-19 笑恵館

<http://shokeikan.com/>

主な所属団体：

株式会社なのに（取締役・平社員）

<http://nanoni.co.jp/>

一般社団法人日本土地資源協会（代表理事）

<http://land-resource.org/>

特手非営利活動法人 HOME-FOR-ALL（事務局長）

<http://www.home-for-all.org/>

一般社団法人地域社会圏研究所（事務局長）

<https://localrepublic.jp/>

.....

## 6. このメルマガについて

松村拓也とご縁のあった方に、日々の活動やブログ記事の抜粋などの情報をほぼ毎週お届けします。参加希望、ご意見、ご質問など、何でもこのメールに返信してください。

バックナンバーはこちら

<http://nanoni.co.jp/magazine/>

メール配信をご希望の方はこちら

<http://eepurl.com/dHjgFX>

まぐまぐ版はこちら

<https://www.mag2.com/m/0001693746>